



# 令和2年7月豪雨の傷痕、 3年がたった今は

九州森林管理局

## はじめに

令和2年7月3日から7月31日にかけて日本各地に大きな被害をもたらした「令和2年7月豪雨」では、熊本県南部地域においても7月3日から4日にかけて線状降水帯を伴う記録的な大雨となりました。球磨川流域を中心に河川の氾濫や土砂災害による家屋の浸水、倒壊が多発し、農地や農業用施設、鉄道、道路、水道などの生活基盤にも甚大な被害を与えました（写真1）。

## 特定民有林直轄治山事業 の立ち上げ

令和2年7月豪雨が、同年8月5日に大規模災害復興法の「非常災害」に指定されたことを受け、8月25日に熊本県知事から農林水産大臣に対し、被災した治山施設や林地の復旧に関する

事業を国の直轄代行で行うことを求める要請がありました。

これを受け、9月1日、芦北地区の民有林計36カ所（芦北町33カ所、津奈木町2カ所、水俣市1カ所）の復旧を



写真1 発生直後の芦北町岩本地区

### 管内概要

#### 所在地

熊本県熊本市西区京町本丁2番7号

#### 区域面積

419万ha  
うち森林面積 277万ha うち国有林面積 53万ha

#### 関係自治体

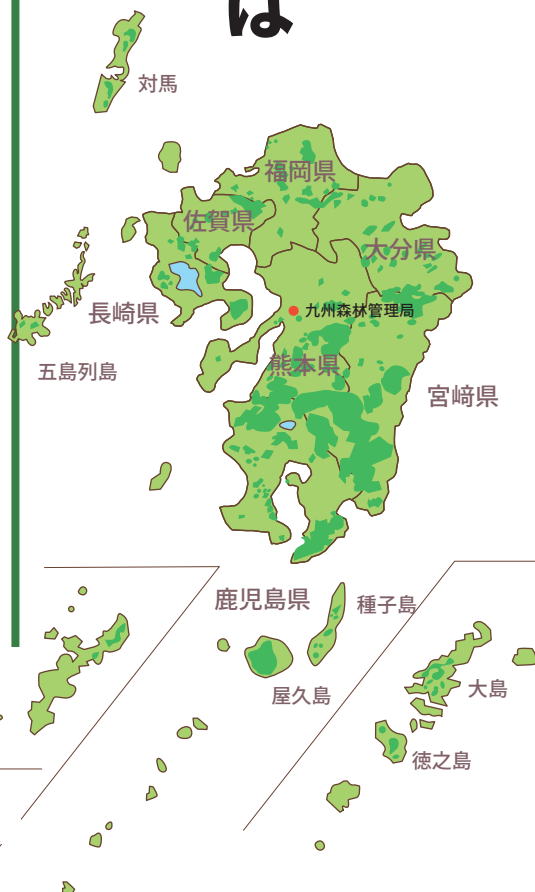
8県  
(福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県)



九州森林管理局は、九州・沖縄8県に所在する森林の約2割（約53万ha）に相当する国有林の管理経営を担っています。

九州の国有林は、九州中央山地から雲仙、阿蘇、九重、霧島、桜島といった火山地帯、対馬や五島、屋久島、奄美、南西諸島といった離島まで、南北約1,200kmの広範囲に分布しており、多様な森林生態系を有しています。

また、九州は温暖多雨な気候のため、スギやヒノキの生育に恵まれており、日田や小国、球磨、飫肥などの歴史的に有名な林業地が発展してきた地域でもあります。



国の直轄代行で実施することが決定したことから、10月1日に九州森林管理局は熊本県芦北地域振興局内に「芦北地区特定民有林直轄治山対策室」を設置し、芦北地区特定民有直轄治山施設災害復旧等事業に着手しました。事業期間は令和2年度から5年度、事業費は約31億円となっています。

## ◎ 応急対策

被災現場には崩壊土砂や倒木等が不安定な状態で残っている箇所が多く、そのままにしている場合は再び被害が発生する恐れがあります。このため、人家や道路等に近い場所では、本体工事に着手するまでの間、応急的に土砂の撤去や倒木整理、大型土のうや落石防止網工の設置などの対策を行いました

(写真2)。



写真2 大型土のうの設置 (芦北町椈谷地区)

## ◎ 地元への情報提供

事業の円滑な実施には、住民の方による事業への理解と協力が不可欠です。九州森林管理局では工事発注前に住民説明会を開催し、被災地の状況や復旧工事の内容、発注予定時期、およびその工事期間などについて情報提供を行



写真3 住民説明会 (津奈木町柳迫地区)



写真4 仮設住宅の掲示板での情報提供 (芦北町)

いました(写真3)。また、工事着手後は、進捗状況を定期的に仮設住宅の掲示板に掲示するなど、被災した住民の方の生活再建への不安が少しでも軽減されるよう取り組みました(写真4)。

## ◎ 事業の完了まで

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による技術者不足の中、道路、河川、農地などの他の復旧事業も同時期に進行していたため、一部で当初の計画どおりに工事が進まないなどの影響がありました。令和5年8月に最後の工事が完成し、9月には熊本県へ引渡し、事業が完了しました(写真5)。



写真5 完成状況 (芦北町岩本地区)

## ◎ おわりに

芦北地区特定民有林直轄治山施設災害復旧等事業は、3年間にわたる事業となりましたが、本年9月末をもって「芦北地区特定民有林直轄治山対策室」を閉所しました。

事業の実行にあたり、地域住民の皆様、工事関係者の皆様、関係行政機関の皆様には多大なご理解とご協力をいただきました。この場をお借りして深く感謝申し上げます。

近年、気候変動に伴い山地災害が激化する傾向にあります。効率的な治山事業と森林整備の実施を通じて、引き続き防災・減災、国土の強靱化に取り組んで参ります。

九州森林管理局の初動対応については「林野」令和2年11月号をご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhoustu/jouhou/shi/attach/pdf/0211-3.pdf>

